(桜川市行政評価システム) 記入年月日 平成28年度 事務事業評価表 A (平成27年度 の実績評価) 日 事業区分 事務事業名 公共下水道普及促進事業 新規/継続 継続 事務事業No. 040701000116 政策体系上の位置付け 単独/補助 単独 070101 所属課 O4O7 | 下水道の整備 ○4 | 快適で潤いのある生活環境づくり 総合計画の施策名 下水道課 主要事業 市長マニフェスト 未来PJ事業 グループ 業務G・工務・浄化槽G 施策名 下水道の整備 01 下水道の接続及び浄化槽の設置 系 基本事業名 合併建設計画事業 財務会計上の位置付け 事業期間 事業 公共下水道事業特別会計 単年度繰返し (平成17 年度~) 細 予質科日 公共下水道総務事業 05 01 01 01 02 00 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠 事務事業の現状把握(その1) (D_0) (1)事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 桜川市の公共下水道の接続率は毎年度着実に上がっていますが、桜川市では現 ・下水道接続キャンペーン企画立案-県に協力依頼-キャンペーン実施 在公共下水道事業により整備中であり、毎年供用開始されているため、急速な (戸別訪問含む)-結果集計-広報掲載依頼-県に結果提出 向上は望めない状況ですが、広報活動や接続キャンペーンを実施し接続率を高 • 公共下水道接続工事費補助金交付申請受付-補助金交付決定作成通知-め快適な暮らしと生活環境の改善を図る。 実績報告受付-確定書作成通知-補助金支払い事務 ・ 県への補助金交付申請書-状況報告事務-変更申請事務-実績報告事務 • 市民に下水道のPRを実施 出店準備打ち合わせ-市民祭との連絡調整-段 関催-結里取りまとめ • 下水道出前講座開催 各小学校に訪問講座依頼-講座開催受付日程調整 -講座開催-講座結果取りまとめ (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、 指標値の推移 26年度 27年度 29年度 28年度 3○年度 ①手段 (活動量を表す指標) 単位 (担当者の活動内容) 4)活動指標 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 戸別訪問件数 件 450.00 245.00 200.00 200.00 200.00 下水道キャンペーン企画(戸別訪問含む) 広報誌掲載回数 200 400 300 300 3,00 市民祭に下水道のPRの実施,下水道出前講 座の開催、小学校11校対象 200 キャンペーン実施回数 200 1 00 200 200 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 26年度 28年度 29年度 30年度 27年度 単位 ②対象 (誰、何を対象にしているのか) ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) (実績) (実績) (目標) (目標) (計画) 未接続世帯 件 1,469.00 1,424.00 1,377.00 1,377.00 1,297.00 公共下水道供用開始区域で下水道未接続の 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 世帯、事業所 0.000.000.000.000.0027年度 26年度 28年度 29年度 30年度 (この事業によって対象をどう変え (対象における意図の達成度 ⑥成果指標 単位 るのか) を表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 新規接続世帯 55.00 57.00 50.00 50.00 50.00 下水道に接続する 接続世帯(累計) 件 1,122.00 1,179.00 1,229.00 1,279.00 1,329.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 29年度 26年度 27年度 28年度 30年度 期間限定 (3)投入量(事業費)の推移 (実績) (計画) (目標) (目標) 総投入量 国庫支出金 O \cap \cap \cap 0 $\overline{}$ 213 120 120 県支出金 千円 500 120 \cap 事 千円 O 投 源 地方債 \bigcirc \overline{C} \overline{C} 使用料・手数料 千円 0 O C 訳 その他 千円 O O 0 O O 千円 547 503 975 218 218 O - 般財源 事業費計(A) 千円 760 623 1,475 338 338 \cap 正規職員従事人数 4.00/ 4.00*人* 4.00人 4.00*人* 4.00人 578.00 578.00 量 件 述べ業務時間 問部 700.00 650.00 700.00 人件費計(B) 千円 2,031 1,886 2,031 1,677 1,677 2,791 2,509 2,015 タルコスト(A)+(B) 千円 3,506 2.015 27年度事業費 実績(千円) 28年度事業費 予算(千円) 08 報償費 11 需用費 333

※下記に該当する事業は、年 度ごとに事業内容を記入する

(4) 当該年度の実施内容

19 負担金補助及び交付金

28年度の事業内容 下水道週間コンクール記念品代 キャンペーン配布品 市民祭啓発品。

51

240

接続補助金

29年度の事業内容 下水道週間コンクール記念品代 キャンペーン配布品 市民祭啓発品。 接続補助金

12 役務費

18 備品購入費

19 負担金補助及び交付金

30年度の事業内容 下水道週間コンクール記念品代 キャンペーン配布品 市民祭啓発品。 接続補助金

1,475

135

1,000

主要事業

• 市長マニフェスト

· 未来PJ事業

11 雲田書 12 役務費

 σ 内 訳

• 合併建設計画事業

事務事業名	公共下水道普及促進事業	事務事業No.	40701000116	所属課	下水道課
	業の現状把握(その2) 開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開	台されたのか? 開始時期あ	るいは5年前と比べてどう	変わったのか?	
平成18年度に県下水道課から、桜川市の下水道接続率が他市町村と比べ低い指摘があり、接続キャンペーンを実施することになった。併せて戸別訪					
問も実施した。また、接続補助金を平成20年より創設した。					
(こ) この市改市世に対して明広本(15日 詳入 市世廿岳本 知中明広本)からじ/ ち辛日が布性が守せられていてから					
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 軽快で住みやすい町になってきている。					
(7)前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 マンネリ化にならない事業推進を図っていく。					
		1 2 1 2 10 10 01 2 01 11	30,22000		
70 N 0					
【See】 2. 評価の	部 *原則は事前評価。	評価項目			
①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)					
目 「結びついている 多くの世帯・事業所に接続することは、市民の生活環境が改善され、公共用水域の水質改善に結びつく。					
HA) -		24080 this 1 7 lt # + 7		7 0 D (b)	
妥 ② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?)(法定受託事業はその名称) 性 下水道法に供用開始から3年以内に接続しなければならない規定があり、市においても接続推進をしなければならない。					
下水道法に供用開始から3年以内に接続しなければならない規定があり、市においても接続推進をしなければならない。					
未接続者へは、訪問により接続義務の理解を求め、接続工事費補助制度を活用し負担の軽減を図っている。					
向上余地がある 一向上余地がある 一					
④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 右					
有					
性					
(他に手段がある場合) (他に手段がある場合) (一次のような、一次のよりな、一次のような、一次のよりな、一次のよりな、一次のよりな、一次のよりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりな					
M -					
率 性 <u>削減余地がない</u> 接続率を上げ、使用料を恒久的に得る為には多少の事業費で補助金の支出はやむをえない。					
公 ⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)					
平 <u> 公正・公平である この事業は、広報活動と未接続者への職員訪問が中心となるものであり、受益者負担は公平・公正である。</u>					
	詰果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算 : しての評価結果	·への反映) (2) 全体総括(振り返	り、反省点)		
		本事業は、公共下水道への	接続率を向上させることを		
①目的妥当性 ■②有効性 □		ンや個別訪問を実施してい を創設しました。また継続			
③効率性 ■	適切 🗌 見直し余地あり 🖵	り、市内11校の小学4年			
④公平性	適切 □ 見直し余地あり				
(3) 今後の事業の方	向性			(4)改革•	改善による期待成果
□終了■	継続 ── □ 改革改善を行う──	(複数回答可) 目的の再設定 [□ 効率性の改善		・休止の場合は記入不要)
		有効性の改善 [□ 公平性の改善		コスト 削減 維持 増加
			コ 連携ができる 丿	向	1971 本年12 11日711
(5) 改革,改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 対象者を絞って実施しても排水設備費用(トイレの改装等を含む)が掛かるためにすぐには解決することが難しい。					
対象自己成りて天地と	ア C O 赤小政備負用(ドーレの以表子で占む)。	ひまり。 のにめに るくには時か	はるのことが発われる	果 持	
				低下	
				(6)事務事業優先度評価結果	
				成果優先度評価結果 (1)	
				コスト削減優先度評価結果	
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項 (1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)					
理長確認後の評価					
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
Δ	にはれた時分	確認			